科目ナンバリング	U-LAS40 20039 SJ26						
授業科目名 <英訳>	脳と心の生命機能ゼミナールII Brain and Mind for Life Functions II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 小村 豊		
群	健康・スポーツ科目群	分野(分類)	健康・スポーツ科学(発展)	使用言語	日本語		
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2026・後期	曜時限	木2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

脳は、私たちが誕生してから、環境とのインタラクションを介して、様々な形で、心的機能を発揮していきます。その心的機能の評価法、脳計測との手法には、様々なアプローチの仕方があります。これらのアプローチ法を整理し、ゼミナール形式で、脳と心の機能について、参加者と議論をしていきます。本授業を通して、健やかな生命・私たちの日常生活を支えている脳・心の理解を深めることを目指します。

[到達目標]

脳と心のしくみを、生命機能と関連づけて理解するニューロサイエンスの素養を築きます。また、ニューロサイエンスには、いくつかの測定法と介入法があり、その検証方法についての理解を深めます。参加者には、議論に参加してもらうことで立案・発表する力を養い、生命機能への洞察を高めることで、健やかな日常生活を送る土台を作ってもらうことを目標とします。

[授業計画と内容]

第1回：イントロダクション　授業の進め方と準備・発表の方法を周知する。第2回以降毎回一人ずつ、担当トピックの発表を行う。準備にあたっては、状況に合わせて、こちらから個別にサジェスチョンを行うので、それを元に、理解を深めてもらう。

第2回から第14回：各授業では、下記のテーマを扱う。発表者は、各題材について、事前に資料をまとめ、参加者と議論する。各発表と議論を踏まえて、神経科学、認知科学、計算科学における背景と動向について、随時、教員から解説を加えていく。
a）脳の測定と介入
b）心の進化的側面（ヒト・動物の比較）
c）認知・行動のモデリング

第15回：フィードバック（総合議論）

[履修要件]

履修希望者は，全学共通科目の講義科目の『脳と生命のシステム科学』を受講中・済であることが望ましい。

[成績評価の方法・観点]

出席と参加の状況、議論への参加状況の総合評価。詳しくは授業中に説明する。

[教科書]

使用しない

脳と心の生命機能ゼミナールII(2)へ続く↓↓↓

脳と心の生命機能ゼミナールII(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

事前にトピックが知らされたら、関連資料などを一読し、当日の議論に備える。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]